

2020年01月21日

呼吸器内科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「小細胞肺癌の二次治療としてのアムルビシン療法における発熱性好中球減少の予防のためのペグフィルグラスチムの有用性に関する研究」への協力をお願い

呼吸器内科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんのデータを用いた臨床研究を行います。患者さん個人のお名前や、個人を特定できる情報は一切公表しません。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究期間：承認日～2024年12月31日

研究目的： 実地臨床におけるアムルビシン治療におけるペグフィルグラスチムの一次予防的投与の効果を明らかにすることで、適切な顆粒球コロニー刺激因子の使用方法を確立するします。

研究内容： 本研究は電子カルテ、看護記録、薬剤管理指導業務支援システムに記録されている情報を抽出して行う疫学研究です。抽出する情報としては、患者情報（年齢、身長、体重、診断名）、処方情報（抗がん薬、支持療法薬）、臨床検査値情報（TAST、ALT、CRE、Neut、WBC、HGB、PLT）、治療や有害事象に関する記載情報です。

対象： 2013年1月から2018年5月までに当科において、がん化学療法を受けられた方
研究への参加辞退をご希望の場合

この研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。この研究では当科において既に管理している患者さんのデータを研究用に匿名化（対応表あり）して使用させていただきます。患者さん個人のお名前や、個人を特定できる情報は一切公表いたしません。

この研究に関して不明な点がある場合、あるいはデータの利用に同意されない場合には、以下にご連絡ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

この研究に関して不明な点がある場合は、以下にご連絡ください。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 薬剤部
電話番号 058-230-7088
研究責任者：飯原 大稔